

文字について - 組み方向 -

InDesign はページものの編集に長けているアプリケーションなので、文字に関する機能が充実しています。ここでは文字の扱いについて説明します。

まずは下の宮沢賢治の春と修羅の序文を見てみましょう。左が横組み。右が縦組みです。InDesign では書類を作成する段階で、この縦組みと横組みを決めることが多くあります。設定の仕方は「新規書類 / マージンと段組・レイアウトグリッド」を参照してくださいね。

後から組み方向を変える時はテキストを選択して、メニューバーの「書式」から「組み方向」を選んでね。

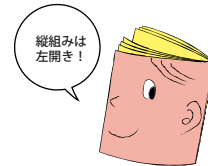
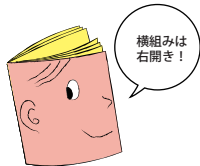


横組み

わたくしといふ現象は
仮定された有機交流電燈の
ひとつの青い照明です
(あらゆる透明な幽霊の複合体)
風景やみんなといつしよに
せはしくせはしく明滅しながら
いかにもたしかにともりつづける
因果交流電燈の
ひとつの青い照明です
(ひかりはたもち その電燈は失はれ)

縦組み

わたくしといふ現象は
仮定された有機交流電燈の
ひとつの青い照明です
(あらゆる透明な幽霊の複合体)
風景やみんなといつしよに
せはしくせはしく明滅しながら
いかにもたしかにともりつづける
因果交流電燈の
ひとつの青い照明です
(ひかりはたもち その電燈は失はれ)

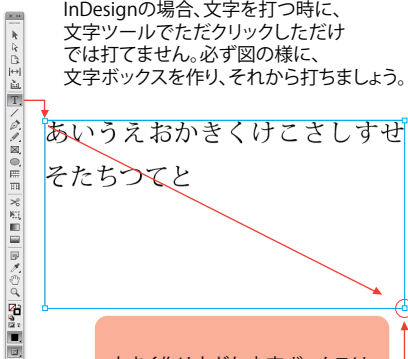


文字の打ち方について

文字を打ち込む際に、InDesign だと文字ボックスを作り直接入植する方法と、word やテキストエディット等他のアプリケーションで作成した文字を流し込む方法があります。

【方法1】文字ボックスを書く

InDesignの場合、文字を打つ時に、文字ツールでただクリックしただけでは打てません。必ず図の様に、文字ボックスを作り、それから打ちましょう。

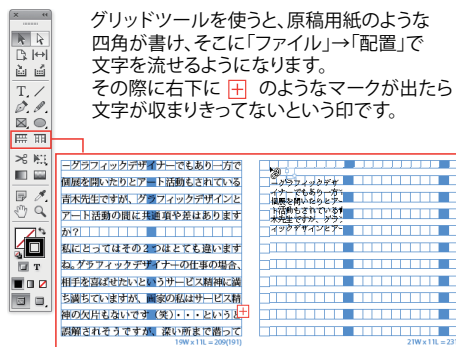


大きく作りすぎた文字ボックスは、右下のバウンディングボックスをダブルクリックしたら丁度いいサイズにしまえるよ!



【方法2】グリッドツールで書く

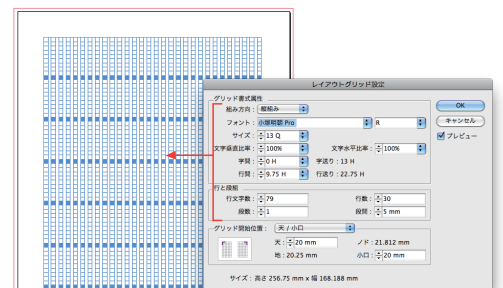
グリッドツールを使うと、原稿用紙のような四角が書け、そこに「ファイル」→「配置」で文字を流せるようになります。その際に右下に のようなマークが出たら文字が収まりきってないという印です。



その場合はもう1つグリッドツールで四角を描き、 をクリックして新しく書いたグリッドをクリックすると2つのボックスがリンクされ、自動的に隣に文字が流れます。

【方法3】マスターページに最初からテキストフレームを用意する。

最初の設定通りテキストフレームができてよ!



ただし最初の画面で設定したテキストフレームを、文字入力後異なる設定に変えると手間なので注意しよう!



point!



★ 文字が治りきっていないときは、画面の下にこのようなエラーが出るよ! 常にチェックしておくといいです!